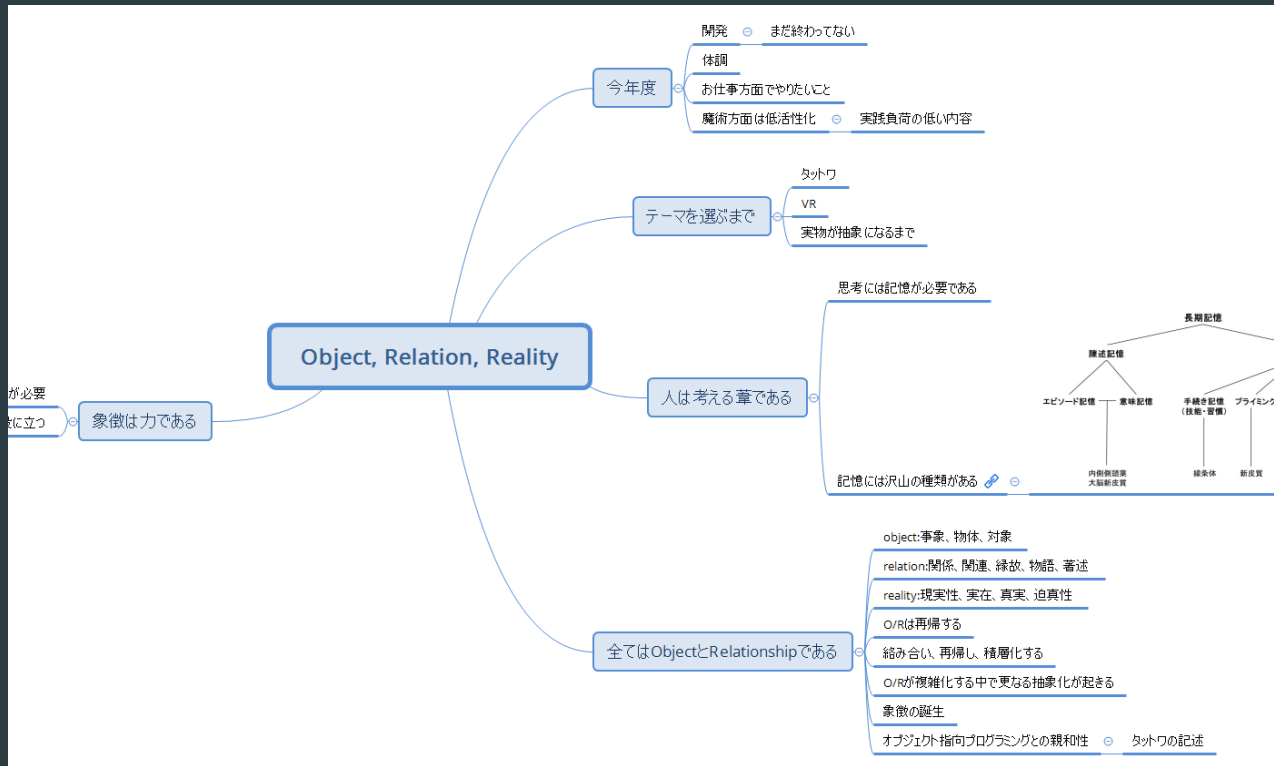


Object, Relation, Reality

魔術亭 O T E



Object, Relation, Reality

今年度

開発事業

体調の問題

仕事新規ジャンル開拓



魔術方面は低活性化

テーマを選ぶまで

01

タットワ

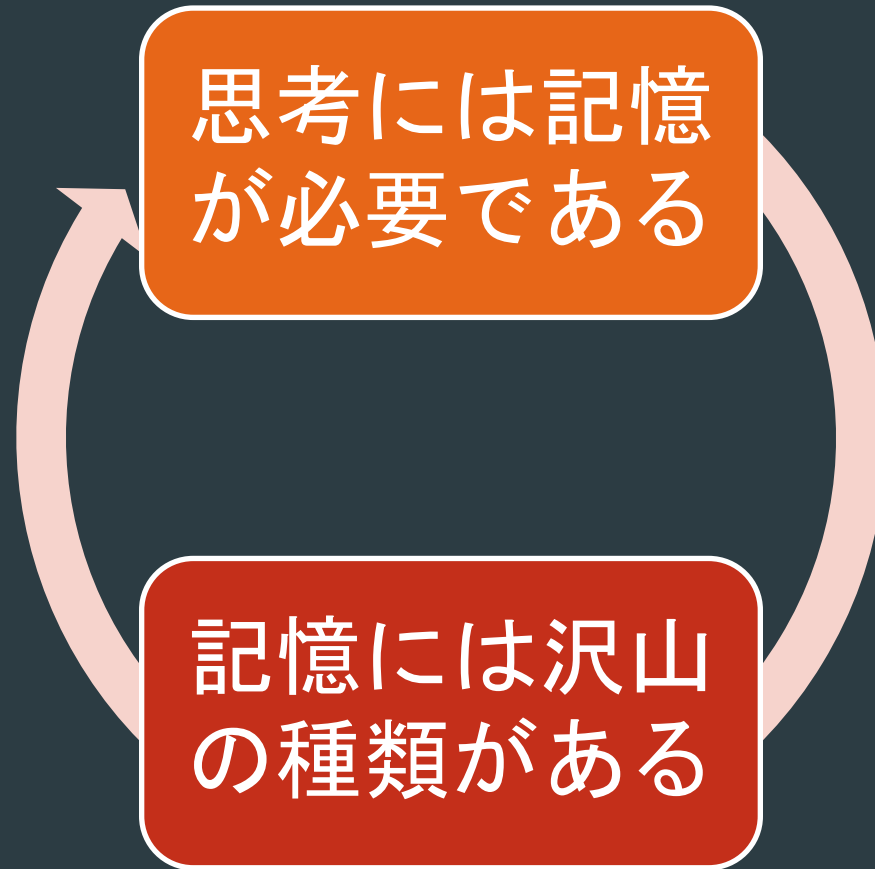
02

VR（実践と
作成）

03

実物が抽象
になるまで

人は考える葦である



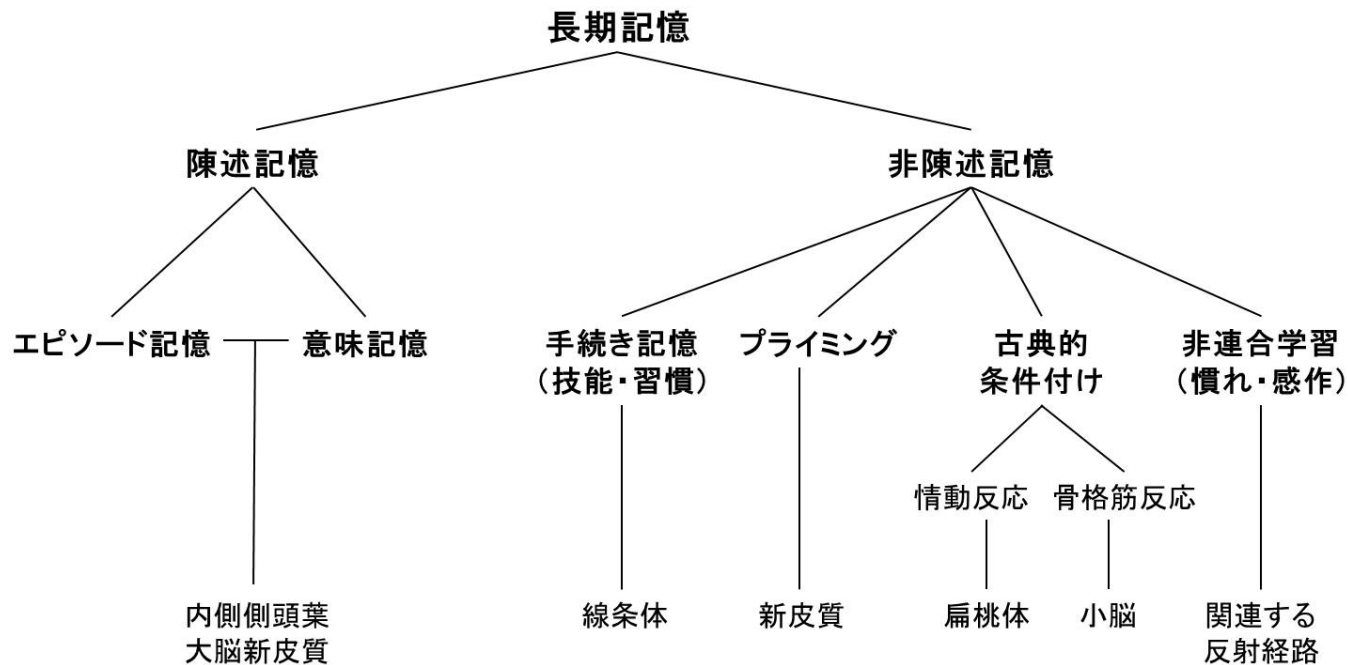
思考には記憶が必要である

何も知らずに考えることは出来ない

- 水母に哲学はできない

知らない事を考察できない

知るためには記憶が必要



様々な記憶の種類

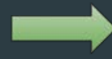
出典：脳科学辞典 <https://bsd.neuroinf.jp/>

全ては Objectと Relationship である

- ▶ object:事象、物体、対象
- ▶ relation:関係、関連、縁故、物語、著述
- ▶ reality:現実性、実在、真実、迫真性
- ▶ O/Rは再帰する
- ▶ 絡み合い、再帰し、積層化する
- ▶ O/Rが複雑化する中で更なる抽象化が起きる
- ▶ 象徴の誕生
- ▶ オブジェクト指向プログラミングとの親和性

object

モノ全般



物体、事象、
対象、現象

relation

關係、關連



緣故

物語、著述

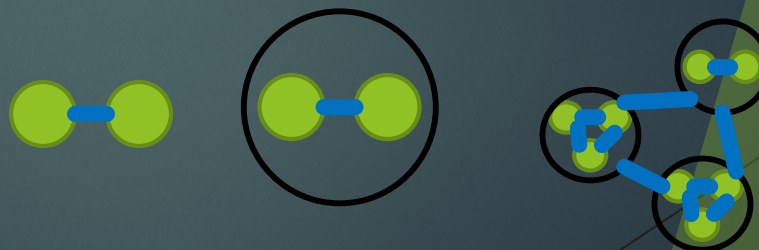
現実性、実在、
真実、迫真性

reality

物体では無い

O/Rは再帰する

- ▶ 再帰
 - ▶ マトリョーシカ
 - ▶ BN記法
- ▶ ObjectとRelationの塊が新たなObjectになる
 - ▶ ObjectとRelationの数は不定



絡み合い、
再帰し、積
層化する

単純な物理層から抽象的な
層へ

層に貴賤は無い

互いに依存し合う？

O/Rが複雑化する中で
更なる抽象化が起きる

生物の神経系と自我の
関係

化学物質に反応する
だけの存在に心が生
まれる

心とは？

単に事象の伝達だった
O/Rに神秘が生まれる

死

神

火

象徴

複雑に絡んだObjectとrelationによってRealityが生まれる

見えている属性だけで無く背後のRealityが必要

属性は劣化したり昇華したりする

全てを使えば良いという物でも無い

自分のRealityに合わせるべき

象徴は力である

1

ORR全てが必要

2

古い象徴も新しい物も
役に立つ

3

象徴の構成を知ること
で、新しい側面を作れ
る

4

余り自分の道のみを行
くのも危険

- 自分語が過ぎると、まず
い

- 人とすり合わせる

象徴は扉である

- ▶ 象徴を育てれば、そこに扉がある
- ▶ 扉の向こうもまた象徴
 - ▶ 自分と他人が育てた物
- ▶ Object、Relation、Realityを研ぎ澄ませ

オブジェクト指向プログラミングとの親和性

タットワの記述との類似

ObjectとClass

RelationとAs-a、クラス内クラス

共通する物の見方がある

魔術に活かすには？

- ▶ 持っている物をより小さな単位で検分できる
- ▶ これまで得た物の再構築、再発見
 - ▶ より深く自分に合わせられる
 - ▶ 精神的な危機
 - ▶ 既存の道との兼ね合い
- ▶ 無意識と意識の循環
- ▶ 新しい知識を得る際のツール